

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市母子生活支援施設けやき荘
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市浦和区</p> <p>②施設の設置目的 配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護するべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援することを目的とする。</p> <p>③施設の概要 (1)用途 母子生活支援施設 (2)定員 19世帯</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和2年度57,502千円、令和3年度57,270千円、令和4年度57,497千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 50人 延入所世帯 25世帯(前年129人 延入所世帯59世帯) ・稼働率13.0%(前年度30.7%) <p>◇業務実施状況</p> <p>(1)母子等の保護及び自立の促進のための生活の支援に関する業務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①通常入所事業 ②母子緊急一時保護事業 <p>(2)退所者した者の相談その他の援助に関する業務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アフターケア事業 <p>(3)施設における会計管理、安全管理、情報管理及び苦情処理、第三者評価に関する業務。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間宿直警備業務 毎日 ・受水槽清掃業務 年1回 ・廃棄物収集運搬処理業務 週1回 ・非常通報装置保守点検業務 年4回 ・消防設備保守点検業務 年2回 ・床清掃業務 年1回 ・建築設備検査、消防設備検査業務 年1回 <p>③その他の業務</p>

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉事業収入 648千円 (前年度278千円) ・指定管理料 57,497千円 (前年度57,270千円) ・その他の収入 143千円 (前年度181千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 38,859千円 (前年度36,485千円) ・事務費 1,279千円 (前年度1,416千円) ・施設管理費 8,727千円 (前年度7,334千円) ・事業費 310千円 (前年度583千円) ・次年度繰越金 6,302千円 (前年度9,277千円) ・その他の支出 557千円 (前年度557千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>・意見箱「みなさまの声」、「そうだんばこ(子ども用相談カード)」を設置するとともに、法人全体での利用者アンケートを実施し、意見や要望を受け付ける取組を行った。</p> <p>・今年度初めて利用者懇談会とは別に、けやき荘への理解を深めていただく機会として、利用者説明会を開催し、年間事業計画や、利用者から出された意見を元に、より快適な施設となる取組についての説明を行った。</p>
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
信頼関係の構築	日常的に積極的な言葉がけを行い、雑談に応じることで、気軽に相談をしたり、意見を述べられる関係性を築いた。常に利用者の生活状況や、心身の状況に気を配りながら、適切な助言を行い、意向に沿った支援を実施した。子どもの成長を共に喜べる行事の実施や、行事以外でも敷地内で育てている野菜や果物を、母と子で収穫する体験の場を設けるなど、母と子の関係性の構築や子どもの情操に向けた支援を行った。
施設外との連携	合同連絡会議を開催し、利用者への適切な支援に繋がれるよう、けやき荘の事業についての説明を、関係機関に向けて行った。福祉事務所、保健センター、児童相談所、学校、保育園、医療機関、民生委員、自治会等との連携を図り、協働して取り組む体制を整えた。 地域活動に利用者・職員共に積極的に参加し、地域との交流を持つことにより、利用者の活動範囲を広げ、地域と施設の相互交流を促進させた。 埼玉県母子生活支援施設協議会と連携し、情報交換や母子支援について協議し、支援マニュアルの改訂に取り組んだ。
母子の保護、自立支援、アフターケア	目標達成に向けた具体的な課題や対応策等、利用者の意向を反映させた「自立支援計画」を6か月毎に策定し、個別の支援内容を全職員で共有し、統一した支援を行った。育児支援、進学支援、就労支援、家計管理支援等、利用者個々に必要とされる支援を行い、早期自立に向けた取り組みを行った。 退所後のアフターケアについては、退所した地域で安定した生活を送れるよう、生活支援、子育て支援等のサービスについて情報提供を行った。また、関係機関とのケース会議に参加し、退所後の母子の見守りについての役割分担を確認した。コロナ禍においても、個別で対応できるよう行事を工夫したり、寄付物品の提供などで来荘していただき、子どもの成長を喜ぶとともに近況確認を行った。
安定的な施設管理	事故防止や感染症の予防策等、安全確保の取組を継続的に行った。新型コロナウイルス感染症対策では、感染症発生時の対応や日々の衛生管理を、状況に応じ適切に行った。 日常の清掃作業、施設設備の点検作業により、清潔維持、破損箇所の拡大防止に努めた。経年劣化による箇所も、計画的に修繕や部品交換を行った。
職員の教育・研修の実施などの資質向上	専門的な外部研修に積極的に参加し、最新の知識の獲得や、支援技術の向上に努めた。また、職場内部研修を実施し、外部研修や法人研修で学んだ知識や情報、技術を伝達し、職場内全体の専門性の向上に繋がった。 支援マニュアルなどを見直し、更新を行った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

・利用者の自立への意欲を尊重し、地域での生活がスムーズに移行できるよう、情報提供や退所に向けた支援を行った。また、退所した母子が地域で困らないよう、関係機関と連携し見守り体制を整えた。

・昨年度に引き続きコロナ禍ではあったが、感染防止対策を講じた上で工夫し、親子で楽しめる行事を実施した。また、けやき荘への理解を深めていただくための説明会や利用者懇談会を実施し、更により過ごしやす施設となるよう、利用者の意見を取り入れた施設運営に取り組んだ。

・新型コロナウイルス感染防止対策として、館内消毒作業、マスク着用の徹底、消毒液の各所設置、換気の徹底、利用者・職員・来訪者の体温チェックを実施し、施設内衛生管理の強化に努めた。感染症発生時もサービスを継続的に提供できるように体制を整えた。

・利用者の減少が著しくはあるものの、安心・安全な施設を維持できるよう、環境整備を徹底した。また、マニュアルの整備や施設内研修を行い、職員の支援技術の向上に努めた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:子ども未来局子ども家庭総合センター子ども家庭支援課)

総合評価 (B) ※A~D

- ① 市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組み
事業計画書や協定書に従い、年間を通じ、適正に業務履行された。
- ② 経費の節減に関する取組み
事業計画書や協定書に従い、年間を通じ、適正に業務履行された。
- ③ 適正な管理運営の確保に関する取組み
事業計画書や協定書に従い、年間を通じ、適正に業務履行された。

総合評価 B 適正に施設の管理運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、適正な施設の管理運営を行うよう指導する。